

寅さん歩 その22

東京2020 聖火リレー-16

岩手県・宮城県



写真右上は東京2020オリンピックの聖火リレーのトーチを掲げる平野寅次郎こと平野武宏です。全国のウォーキング大会を映画「男はつらいよ」の寅さんのように歩き回ったので妻の友人から「平野寅次郎」と命名され、ペンネームとしています。右上の写真は都庁でのトーチ公開時に撮影しました。パラリンピックのトーチも色違いであります。

東京2020大会の聖火は2020年3月26日に福島県をスタートし、移動日を含む121日をかけて47都道府県を回り、7月24日の開会式会場に到着します。

なお、2019年11月30日に完成した「新国立競技場」は2019年12月15日の竣工式を終え、「国立競技場」と呼ばれます。

寅次郎、八柳修之さん作成の「バーチャルウォークで沖縄から新国立競技場へ聖火を運ぶ（仮想コース）」を行い、通過した都道府県の寅次郎のウォークの思い出と映画「男はつらいよ」で寅さんの恋の記録をお話ししました。

映画「男はつらいよ」は第1作の公開[1969年(昭和44年)8月27日]から50周年となり、記念して2019年(令和元年)12月27日に第50作「男はつらいよ お帰り寅さん」が公開されました。寅さん役の渥美清さんは1996年(平成8年)に亡くなっていますが、今までの作品の寅さんが技術を駆使して登場します。

「寅さん歩」も映画の50周年を祝って一足早く全国の聖火リレーのコースを紹介しながら、前回のバーチャルウォークで通過しなかった道県での寅次郎のウォークの思い出と寅さんの恋をお話したいと思います。各県名の脇の月日は実際に聖火リレーが行われる月日で、コースはスタートとゴールの予定地です。なお、2019年12月17日聖火リレーの詳細が発表されました。

〔岩手県〕 2020年6月17日～19日

聖火リレーコースは6月17日 雫石町～久慈市、18日 岩泉町～陸前高田市、19日 一関市～盛岡市で花巻市も通過します。

寅次郎、2004年（平成16年）8月開催の第7回岩手花巻地区イーハトーブの里ツアー「デーマーチ」で花巻を訪れています。夜行バスを利用して1日目に参加、2日目はF W A例会があるため参加せずに、新幹線で帰る強行軍でした。当時は1日参加でオールジャパンウォーキングカップは認定されるルールでした（現在は2日参加が必須に変更）。暑い大会との評判通り、晴天の中、本当に日陰の無いコースでした。でも岩手らしい田園風景と、国宝の毘沙門天は拝観料400円を払っても見る価値がありました。「イーハトーブ」とは宮沢賢治の考える理想郷、宮沢賢治の父は裕福な質屋、名産品は「田舎味噌」と「そば」と学びました。ゴール手前の美味しい「とろろそば」で昼食です。寅次郎が2004年（平成16年）6月に会社生活を卒業して参加した最初の大会です。再就職先はF W Aで職業はウォーカー。それまでは兼業でしたが、この時から本業として専念します。

映画の寅さん、1983年12月公開の第33作「男はつらいよ 夜霧にむせぶ寅次郎」で盛岡を訪れています。主舞台は北海道なので、北海道—3をご参照ください。

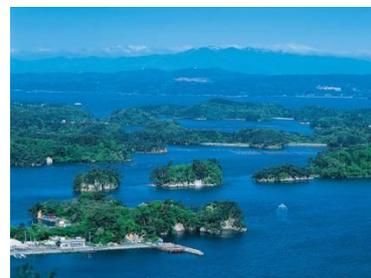
聖火は宮城県へ引き継がれます。

【宮城県】 2020年6月20日～22日

聖火リレーのコースは6月20日 気仙沼市～女川町、21日 東松島市～利府町、22日 山元町～仙台市です。

寅次郎、2005年（平成17年）5月に開催の第10回日本三景松島国際ツアー「デーマーチ」で松島海岸を歩いています。

1日目は仙石線 松島海岸駅前広場がスタート
・ゴール。スタートしてすぐに遊覧船に乗り、松島湾を約50分クルージングして宮戸島の大高森に上陸。奥松島から陸伝いに松島海岸駅前広場までの20kmを歩きました。



松島は芭蕉が「奥の細道」に旅立つきっかけになった地で、実際に目にした松島は「扶桑第一の好風にして・・・」と絶句したと伝えられる松島の景観を楽しみました。芭蕉も感じた同じ風を肌で感じながら新緑に包まれた白い岩肌の島々やカキの養殖いかだ、山積みの養殖に使う白いホタテ貝を見ながらの心地よいウォーキングでした。ゴールでは冷たい飲み物とあら汁のサービス。この地が2011年の東関東大震災でT Vニュースに被災状況が映し出された時は

心が痛む思いでした。

2日目は「大漁歌い込み」に歌われた名刹 瑞巖寺の北側に位置する新富山展望台から松島湾を正面から見渡し、西行法師が諸国行脚の折、松の大きな下で出会った童子と禅問答して負け、松島行をあきらめた由来の「西行戻しの松公園」から松島湾を眺める 20 k m コースでした。展望は一尺（約 30 c m）登るごとに景観が変わると言われるとおりでした。昼食ポイントでは大きなお鍋でのあら汁サービスです。歩いたコース以外に前日に見学した雄島（石仏・岩窟の島）、早起きして見た朝日が輝く松島湾の水面、瑞巖寺参道の杉木立と根元一面の苔などが大変印象に残りました。宿は会場や松島のシンボル五大堂近くのホテルで活性ミネラルの湯から松島を眺めながら疲れを癒し、バイキング料理（牛タン、ステーキ、お好み天麩羅など）や地元の「とってなげ ひつつみ汁（野菜汁）」のボリュームと味に絶句し、旅に常備の膨満胃腸薬のお世話になりました。風呂場の体重計に乗り、当分は粗食で行こうと反省した寅次郎です。

映画の寅さんは 1989 年 8 月公開の第 41 作「男はつらいよ 寅次郎心の旅路」で瑞巖寺に現れ、商売しています。その後、鉄道自殺を図る心身症のサラリーマンを助け、気に入られ、寅さんに一緒にウイーンに行きたいと誘います。寅さん、初の海外旅行のウイーンではサラリーマンと趣味が合わず別行動し、ウイーン在住の美人ガイド久美子（竹下景子）に惚れますが、結末はいつもの通りでした。



聖火は静岡県へ引き継がれます。

次回は 東京の博物館めぐり-5 です。

平野 寅次郎 拝